

## (記入例)

(様式2表)

## 2025年度 推薦理由書

西暦 2026年2月1日

独立行政法人日本学生支援機構理事長殿

下記の学生は、貴機構の特に優れた業績による返還免除に該当することを認め、推薦します。

佐賀

大学長

課 程 該 当 の 課 程 の □ を ■ に し て く だ さ い	<input checked="" type="checkbox"/> 修士（博士前期）課程	<input type="checkbox"/> 専門職学位課程	<input type="checkbox"/> 博士（博士後期）課程	※
研究科名・専攻名	○○研究科・○○専攻		学籍番号	24251000
奨学生番号	62306999999			旧姓があり、旧姓で表記されている業績がある場合は、「機構(旧姓 奨学)太郎」のように、旧姓を( )書きしてください。
氏名	佐賀 太郎			

## ◆特に優れた業績の該当項目

業績の種類			学内選考規程の評価項目※1	
評価対象となった項目に○（特に重視した項目については◎）を記入			学内における教育研究活動等に関する業績	学外における教育研究活動等に関する業績
1	◎	学位論文その他の研究論文	第6条-1、2、5	第6条-3、4、5
2		大学院設置基準第16条第1項に定める特定の課題についての研究の成果		
3		大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果		
4		著書、データベースその他の著作物 (第一号及び第二号に掲げるものを)		
5		発明		
6	○	授業科目の成績	第6条-14	
7	○	研究又は教育に係る補助業務の実績	第6条-15	
8	○	音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績		第6条-17
9		スポーツの競技会における成績		
10	○	ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績		第6条-23
11		その他機関が定める業績 ※2		

※1 (本機関に提出された) 学内選考規程等で定められた評価項目の該当項目番号等を記載してください。

(例: 第1条第1項, 第6-②など)

※2 返還免除内定者は、修業年限内に課程を修了すること（修業年限の終期より前に貸与期間が終了する場合は、修業年限で修了見込であること）を業績として推薦できます。この場合、「11 その他機関が定める業績」欄に○又は◎を記入してください。その他評価した実績がある場合は当該項目に○を記入してください。

## ◆選考及び順位付けの理由 (200字程度で記載してください)

※選考の理由は指導教員に記入してもらうこと。

※注意) 理工学研究科博士前期課程においては、申請後に選考の理由を指導教員に記入してもらいますので、申請時はここは空欄でお願いします。なお、指導教員には申請後に選考の理由の記入依頼が別途あることを伝えて、承諾を得てから申請してください。

※下の赤点線枠内は記入しないで下さい。奨学金担当で記入します。

◆推薦順位（推薦者中の順位）			当該課程の推薦者	人中	推薦順位	位	学校番号
----------------	---	---	----------	----	------	---	------

※教員免除者として推薦する場合、推薦順位の記入は不要です。

## ◆教員免除者として推薦する場合

 申請者が4月1日時点で正規教員として在職していることがわかる在職証明書を提出します。

※在職証明書は提出が必要です。

※ 博士課程の奨学生を推薦する場合は、裏面についても記入してください。

## ◆博士課程の業績評価に関するガイドラインについて（修士課程・専門職学位課程については記入不要）

該当の項目に○をつけ、資料番号を記入してください。  
博士課程の学生は(1)～(7)のうち必ず1項目以上満たしている必要があります。

両方の欄に記入してください。			ガイドラインを満たしている項目
	該当項目に ○	資料番号	
(1)	<input type="radio"/>	1-1	学位論文の教授会での高い（平均水準以上）評価 ※1
(2)	<input type="radio"/>	1-2 1-3	査読付き学術雑誌への原著論文掲載 ※1
(3)	<input type="radio"/>	1-5	論文及び学会での発表に対する表彰又は受賞 ※1
(4)			日本学術振興会の特別研究員に採用され奨学生貸与を辞退した場合、または、これと同等な民間財団等が公募している競争的資金を獲得することにより奨学生を辞退することとなった場合、上記(1)～(3)に準じる実績
(5)		事情書	研究領域の特性により前記(1)～(3)の実績を挙げるのに時間を要することなどから、同じ研究領域の博士課程学生のうち概ね半数以上が在学中に当該実績を挙げられない場合は、当該実績に準じる実績
(6)			「音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績」あるいは「スポーツの競技会における成績」において、国際的レベル・全国レベルでの顕著な成績（入賞）等
(7)			返還免除内定者

※1 平成30年度以前に奨学生に採用された者については、「学位論文その他の研究論文」以外の業績において上記(1)～(3)と同水準の実績が認められる場合も業績優秀者として、項目等を記入してください。

## 2023年度以降に採用された博士課程（博士前期課程は除く）の学生の場合は、必ず確認してください。

◆2023年度以降に博士（後期）課程及び博士医・歯・薬・獣医学課程において第一種奨学生として採用された者のみ  
国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が実施する以下の事業の支援を受ける場合は、「特に優れた業績による奨学生返還免除制度」における返還免除の対象外です。推薦する奨学生が以下の事業の支援を受けていないことを確認してください。

- ・科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業
- ・次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）
- ・国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業（BOOST）次世代AI人材育成プログラム（博士後期課程学生支援）

推薦する学生は上記の事業の支援を受けていないことを確認しました。

※確認の上、□を■にしてください。